

「津波対策推進マニュアル検討報告書」改訂に係る編集方針（案）

1 対象者（「マニュアル」活用者）

- ・市町村の防災担当者及びその他の職員
- ・市町村の防災担当者を助言する都道府県の防災担当職員
- ・消防職団員、自主防災組織や町内会の代表者 等

2 出来る限りコンパクトな構成

- ・「津波避難」に重点を置く
- ・頁数は現行のマニュアル程度とする

※ 但し、津波浸水想定（ハザードマップ）や津波警報など、関連する内容（住民に知っておいて欲しいこと）も盛り込む。

「津波・高潮ハザードマップマニュアル（平成 16 年 3 月）」、「津波避難ビルに係るガイドライン（平成 17 年 6 月）」等の見直し内容を反映させる。

3 読み手に有用な内容

- ・津波避難計画策定にあたっての留意点
- ・参考事例
- ・東日本大震災の体験談
- ・広報文の例
- ・その他参考となる資料 等

（参考）「津波避難計画」策定にあたっての役割分担・体系

国	「津波避難計画」策定のためのマニュアルの提示
└ 都道府県	「津波避難計画」策定に係る指針の策定
└ 市町村	市町村全体の「津波避難計画」の策定
└ 市町村・地域住民	地域ごとの「津波避難計画」の策定

※「津波避難計画」とは、地域防災計画に掲載されている津波対策をより具体化したものである。